



◆◆ 令和3年度 卒業証書授与式 ◆◆

3月18日、令和3年度卒業証書授与式が無事に挙行され、3名の卒業生が立派に卒業しました。厳粛な雰囲気の中、3名とも堂々とした態度で式に臨み卒業証書を受け取りました。最上級生として様々な場面で活躍し、より良い学校づくりに貢献してくれた6年生。中学校でも持てる力を発揮し活躍されることを期待します。



【卒業証書授与】



【別れのことば】



【証書を抱え、退場】

3名それぞれが、自分の思いを伝えた「別れのことば」が印象的でした。以下、一部紹介します。

- ・私は、臨海自然教室に行ったことや池小まつりの全校発表が一番の思い出です。臨海自然教室では、なかなか行くことが出来ない海で、みんなで協力して楽しく活動することができました。池小まつりでは、「YUME日和」を上手に演奏できました。最後にみんなで作ったくす玉がきれいに割れたことも思い出です。
- ・ぼくの一番の思い出は臨海自然教室です。班長としてみんなをまとめたり、あいさつをしっかりとすることができました。みんなで協力して活動し、海のことをたくさん学ぶことができました。
- ・私の小学校の思い出は、臨海自然教室や板荷の自然教室などの宿泊学習です。みんなと協力し合って活動したり、時間や決まりを守って楽しく過ごすことができました。みんなでお泊まり会のようなことができました。

◆◆ 歴史から学ぶ (3年 社会科) ◆◆

3年生が、社会科で昔の学校を調べました。池ノ森小は、「龍元寺」というお寺が始まりです。今でも学校に隣接した建物に「龍元寺」と看板があります。その建物を、地域の方の計らいで見学することができました。中は、地域の方々が集会場として使えるようになっていましたが、お寺の名残も見られ、子どもたちの興味関心を高めることができました。

年度当初は池ノ森の動植物の探究を通して知見を高め地域愛を育てて参りましたが、今学期の歴史学習を通して、更に深い学びとなりました。改めて、本地域の教育的資源の豊かさを実感しました。



◆◆ 児童の手による「学校づくり」 ◆◆

今年度は「わくわくする学校」をテーマに、児童の主体性を培う取組に力を入れて参りましたが、特に成果が見られたものが二つありました。一つは、「ツナポテトバーグを給食の献立にした取組」で、もう一つは、「池小ギネスの取組」です。二つに共通するのは、児童の発案（願い）から始まったこと、そして、学校生活をより良いものにしようとする「自治的活動」であったことです。これらの取組を通して、児童の願いをかなえる取組こそが質の高い学びを継続させ活気ある学校づくりにつながることを強く実感しました。

そこで、次年度の学校づくりに向けて、児童の願い（思い）を、学級ごとに聞いてみました。

以下、主な回答です。

【1年】

- ・楽しい学校にしたい。けんかとかしない学校にしたい。
- ・他の学校よりもっと勉強ができる学校にしたい。テストをがんばりたい。
- ・2年生になったら、1年生にやさしくしたい。
- ・給食を完食したい。 **【雪遊びで楽しさを共有しました(1年生)】 →**



【2年】

- ・学校をもっと美しい場所にしたい。もっと生き物を増やしたい。
- ・池小まつりで発表することを自分で決めたい。
- ・運動会にはかけっこを入れてほしい。運動会の時間を長くしたい。
- ・図書室に花の図鑑を増やしてほしい。テストの回数を多くしたい。



【3, 4年】

【ビオトープをきれいにしてくれました(2年生)】 →

- ・安全な学校にしたい。みんな過ごしやすい学校にしたい。
- ・これからも新鮮でおいしい給食を食べたい。
- ・行事を少し増やしたい。
- ・いろんな企画を考えて、その企画でみんなが楽しめる学校にしたい。
- ・魚以外の生き物を飼いたい。遊具を増やしたい。



【5, 6年】

【池ノ森の野鳥をたくさん見つけました(3, 4年生)】 →

- ・自然や生き物・歴史を大切にするための授業をしたい。
- ・生き物をもっと増やして、その大切さを知ってほしい。
- ・リモート授業をやってみたい。
- ・〇〇さんクイズとかをやって、お互いをもっと知り合う。
- ・ツナポテトバーグを年2, 3回くらい出してほしい。
- ・授業での考えを共有して、より良い考えを出せるようにする。
- ・業間や昼休みを長くして、他学年とのコミュニケーション時間を長くしたい。 **【ツナポテトバーグが採用されました(5, 6年生)】 →**



子どもたちの願い（思い）からは、池ノ森小学校やこの地域を大事にしたいという気持ちが、伝わってきました。この気持ちを大切に、児童・教職員ともに、更なる活気ある学校づくりに努めて参ります。今年度一年間、本校の教育に御理解・御支援いただき、保護者の皆様・地域の皆様に本当に深く感謝申し上げます。

